

教科	学校設定科目	科目	国語C	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
テキスト	自主教材			担当者	和崎 祐美子		
概要・ねらい	大学受験や就職などの進路を視野に入れ、国語に関わる様々な分野の基礎的な知識を身に付ける。また、書く、聞く、話す、という作業を通して言語能力を磨き、表現豊かな人間を目指す。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	18 (3)・「重要漢字」「四字熟語」について  (3)・「ことわざ」「慣用句」「時事用語」の意味と用法  (4)・小論文の書き方  (4)・書類・履歴書の書き方  (4)・面接の試験と対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢検3級相当の漢字能力を身につけているか。</li> <li>・それぞれの言葉の意味を理解できたか。</li> <li>・小論文の書き方を実践的に理解できたか。</li> <li>・公的な文書の特徴を正しく捉えているか。</li> <li>・自分自身について正確に表現できたか。</li> </ul>				
	二学期	20 (6)・聞く技術を鍛える  (7)・愛読書を紹介しよう スピーチ  (7)・言葉を操る ディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習にしっかりと取り組んでいるか。</li> <li>・正確に情報を取り込む能力が身に付いたか。</li> <li>・自分自身の言葉で他者に対して話しできたか。</li> <li>・論理的に言葉を組み立てられたか。</li> <li>・スピーチに向けて十分に準備できたか。</li> <li>・聞く姿勢はきちんとできているか。</li> <li>・ディスカッションに向けて十分に準備できたか。</li> <li>・論理的に自分自身の意見を述べられているか。</li> </ul>				
	三学期		3学期は授業を行いません				
履修上の注意		演習が中心となる講座です。一つ一つに丁寧に真面目に取り組むようにしてください。課題への取り組む姿勢、成果で評価します。					
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	問題解決の能力	技能・表現	知識・理解			
評価の観点の趣旨	言語を用いた表現に関心を持った姿勢で、演習に取り組んでいる。	毎回の演習に向けて、事前に準備が十分になされ、発表等で成果が認められる。	「話す」「聞く」「書く」という言語能力に長け、自分自身を表現できている。	高校三年生相当の国語知識、常識が身についている。			
評価方法	授業への出席状況 授業での演習の取り組み	発表への準備状況 課題の提出状況	発表時の態度・姿勢	学期ごとの定期考査			

教科	学校設定科目	科目	ニュース検定	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	自主教材			担当者	齋藤 翔太		
概要・ねらい	広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な社会人としての資質を養う。また、ニュース検定の資格を取り、今後の進路に活かすような授業を展開する。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	20	授業日前後で話題になっている時事問題を取り上げ、その背景や過程を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●積極的に事象を理解しようとしているか。</li> <li>●諸問題に対する自身の考えをまとめることができるか。</li> <li>●自身の考えを文章にまとめることができるか。</li> </ul> <p>(期末考査)</p>			
	二学期	30	授業日前後で話題になっている時事問題を取り上げ、その背景や過程を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●積極的に事象を理解しようとしているか。</li> <li>●諸問題に対する自身の考えをまとめることができるか。</li> <li>●自身の考えを文章にまとめることができるか。</li> </ul> <p>(期末考査)</p>			
	三学期		3学期は授業を行いません				
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> <li>●板書をしっかり写すこと</li> <li>●配布されたプリントを保管すること</li> <li>●課題、宿題などにしっかり取り組むこと</li> <li>●欠席、遅刻をしないこと</li> </ul> <p>※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	現代の世界が当面する課題について考察し、戦争を防止し民主的な平和な国際社会を実現することが重要な課題であることを認識できたか。	政治、経済、社会、文化、生活など様々な観点から歴史的な事象を取り上げ、近現代世界に対する多角的で柔軟な見方を養えたか。	客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確に理解し、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成できたか。	諸地域世界、交流圏、国際関係の展開などを、比較文明的視点からもとらえ、各時代における世界の中での日本の位置を理解したか。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業への出席状況</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>			



教科	学校設定科目	科目	数学B	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	『Study-Up 数学B』数研出版			担当者	高橋 勇気		
概要・ねらい	数列やベクトルについて理解させ、その概念は現実に応用が出来るものであり、事象を数学的に考察し処理する能力を育むとともに、数学的な見方や考え方の良さを実感できるようにする。また、数学的帰納法などに代表される、数学Bで学ぶ知識が、「生きる力」として身に付くようにする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	3	第1章 数列 1節 数列 等差数列・等差数列の和	数列の概念および数列についての基本的な用語の意味を理解し、等差・等比数列の一般項や和を求めることが出来る。  (中間考査)			
		3	等比数列・等比数列の和				
	一学期	4	和の記号 $\Sigma$	数列の帰納的定義について理解し、簡単な漸化式を扱うことが出来る。また、帰納的な考え方の良さに気づき、等式や不等式の証明に利用することが出来る。  (期末考査)			
4		いろいろな数列					
二学期	3	2節 漸化式と数学的帰納法 漸化式	平面上のベクトルの概念を理解し、ベクトルに関する基本的な用語・記号を理解している。また、ベクトルの加減法や内積を理解し、問題に応用が出来る。  (中間考査)				
	3	数学的帰納法					
二学期	4	第2章 ベクトル 1節 平面上のベクトル ベクトルの意味	位置ベクトルについて知り、図形の問題をベクトルを利用して解くことが出来る。また、平面上の直線や円などの図形が、ベクトルを用いて表現されることを知ること、身近な事象に置き換えて考えることが出来る。  (期末考査)				
	4	ベクトルの加法・減法・実数倍					
三学期	3	ベクトルの成分	3学期は授業を行いません				
	4	ベクトルの内積					
三学期	3	2節 ベクトルの応用 位置ベクトル					
	4	図形のベクトル方程式					
三学期	3	ベクトルの図形への応用					
	3						
履修上の注意							
授業では毎回教科書・ノートを準備し、板書は必ずとること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解			
評価の観点	数学的な活動を通して数列・ベクトルの考え方や思考に興味・関心を持ち、様々な事象をその考え方で考察しようとしているか。	事象を数学的にとらえることができ、数学的な見方や考え方を思考の過程を振り返ることが出来ているか。また、活動を通して多面的・発展的に考えることが出来ているか。	いろいろな問題に触れる中で、身近な事象を用いて数学的な考え方を基に、その事象を表現する方法を身につけることが出来ているか。	いろいろな問題を解決する活動の中で、身近な例を数列・ベクトルで表すことの良さを理解し、応用も含めた知識を身につけることが出来ているか。			
評価方法	授業への出席状況 授業への取り組む姿勢 ノートチェック	授業への取り組む姿勢 ノートチェック 定期考査	授業中の解答 課題提出 定期考査	授業中の解答 課題提出 定期考査			

教科	学校設定科目	科目	荏原の自然	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	自主教材			担当者	大迫崇史		
概要・ねらい	学校周辺の自然環境についての理解を深める。 自然環境について学ぶ姿勢を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	2	ガイダンス、班決め	安全・公共のマナーに留意しながら野外調査を行っているか。 期限までに課題を提出できているか。 班で協力して作業を行っているか。 相手に伝わる発表を作成できたか。			
		2	文献集め、調べ学習				
		8	野外調査、分析、室内作業				
6		まとめ作業、壁新聞作成					
二学期	4	文献集め、調べ学習	安全・公共のマナーに留意しながら野外調査を行っているか。 期限までに課題を提出できているか。 班で協力して作業を行っているか。 相手に伝わる発表を作成できたか。				
	10	野外調査、分析、室内作業					
	6	まとめ作業、口頭発表準備					
	8	まとめ作業、壁新聞作成					
三学期		3学期は授業を行いません					
履修上の注意							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	表現・処理	知識・理解			
評価の観点	・自然の事物や現象に関心を持ち、意欲的に探究し、総合的にとらえるとともに科学的態度を身につけているか。	・それぞれの分野において、事実や仕組みなどを考え、その特徴や法則、働き、利用などを導き出せるか。	・自らの考えをもとにして適切に表現できるか。	・基本的な概念や原理、法則を理解し、知識、技能を身につけているか。			
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出状況	・定期レポート ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期レポート ・課題、レポートの提出	・定期レポート			

教科	学校設定科目	科目	音楽選択	単位数	1	学年・コース	3年 総合/選択者	
教科書	自主教材・音楽の友社等の譜面をプリント化 オリジナルのアレンジ・バイエルピアノ教本			担当者	佃 馨			
概要・ねらい	譜面を見ながら演奏したり歌唱したりする力を身につけ、色々な楽器に触れ、表現と鑑賞・製作(創作)等の活動を通じ、より深く音楽を愛好する心を養う。 保育技術検定において、より高い級の取得を目標とする。							
年間 授業 計画	一 学 期	18	ピアノ演習 バイエルNO30番～NO47番の練習 ・独自のピアノエチュードを使用 ・ポーターーンを使用した個人練習を実施	譜面を正確に読む事が出来るか。 しっかりと練習に取り組む事が出来たか。				
		18	幼児教育に必要な歌唱の練習 ・リズム打ちを含めた歌唱の練習	正確にリズムを打つ事が出来るか。 音程や表情に注意しながら歌う事が出来るか。				
		8	器楽演習 ・リコーダーとハンドベルの演奏 ・鍵盤楽器の演奏	譜面を読みながら、正確に演奏する事が出来るか。 ※ 級別実技試験に則った検定を行なう。				
	二 学 期	22	ピアノ演習 バイエルNO48番～NO104番の練習 ・独自のピアノエチュードを使用 ・ポーターーンを使用した個人練習を実施	譜面を正確に読む事が出来るか。 しっかりと練習に取り組む事が出来たか。 ※ 個人指導を行なう				
		22	幼児教育に必要な歌唱の練習 ・リズム打ちを含めた歌唱の練習 ・音楽劇に取り組む(ぐりとぐらのえんそく 等)	正確にリズムを打つ事が出来るか。 音程や表情に注意しながら歌う事が出来るか。 音楽の創作や工夫が出来るか。				
		22	器楽演習 ・リコーダーとハンドベルの演奏 ・鍵盤楽器の演奏	譜面を読みながら、正確に演奏する事が出来るか。 ※ 級別実技試験に則った検定を行なう。				
	三 学 期	3学期は授業を行いません						
	履修上の注意							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業は教科書とプリントを使用して行う。自己の取り組みを自身で評価し、次の実技項目に生かす。</li> <li>● 器楽の授業においては、積極的な取り組みが必要である。創作に於いては、自主性が必要である。</li> </ul>							
	評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	表現の能力				
評価の観点の趣旨	色々な楽器の演奏方法を通じ、音楽をより楽しむ力を高め、メロディーを自ら作り、音として表現する事の喜びを知る。	譜面を読み取り、自ら音として表現する姿勢を養う。 楽器や歌唱を通じ、音楽に対しより深い興味を抱くように、事前の調べを工夫し努力する。	発声・音色・音程に留意し、 楽曲を正確に表現すると共に、 強弱やテンポなどの個人的な表現を工夫し発表する。	多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを他の人物に伝える努力をす				
評価方法	授業の出欠状況 取り組む姿勢 提出物等	授業の出欠状況 取り組む姿勢 提出物等 発表	授業の出欠状況 取り組む姿勢 発表	取り組む姿勢 学習プリントの提出				

教科	学校設定科目	科目	総合美術	単位数	1	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	自主教材			担当者	高田 洋平		
概要・ねらい	<p>様々な素材を用い、幼児教育にふさわしい実践的学習を行う。 身近にある素材や生活品の制作を通し、豊かな感性を養うことを目的とする。</p>						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	8	モビール(動く彫刻)	色彩と形の効果を生かし、視覚的に面白い立体を表せたか。 作品を動かしたときの様子を面白く表せたか。			
		8	スタンドグラス風灯かり(照明具)	光と影を効果的に使い、自らのテーマに沿って作成できたか。 テーマに物語性を持たせることができたか。			
	二学期	8	お面(マーブリング彩色)	実際のお芝居を想定し、表情のある造形が表せたか。 スケッチから立体にイメージに沿って表現できたか。			
8		銅版レリーフ	一枚の銅版にストーリー性のある図柄を考えることができたか。				
8		季節を表す壁飾り	子どもの視点に立ち、楽しい飾りを考えることができたか。 素材を工夫し季節感を表すことができたか。				
三学期		3学期は授業を行いません					
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材(モチーフ、道具等)は自ら準備し、教室をきれいに使用すること。</li> <li>・流しに直接、絵具等を流さないこと。流しは常にきれいに保つこと。</li> </ul>						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞理解			
評価の観点の趣旨	幼児のための美術作品を考えたか	豊かに表現し大きな視点で物を捉えることができる。	創造的な表現をするための様々な工夫をしている。 用具の使い方を理解できたか。	優れた作品への理解と知識を養う。			
評価方法	積極的な姿勢をもつこと。 完成度を重視する。	実技作品の完成度。 授業への積極的参加。	実技作品の完成度。 授業への積極的な取り組みの姿勢。	観察力を養う。 授業への取り組む姿勢。			

教科	英語	科目	GTEC	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	GTEC for Students STEP UPノート			担当者	稲石 誠		
概要・ねらい	GTEC受験対策を行う。英語の基礎力の向上を目指す。						
年間授業計画	学期	配当時間	単元	学習内容			
	一学期	2	1 GTECについて、学習計画	・GTECについて理解をし、目標、学習計画を立てる。			
		6	2 LISTENING,SPEAKING	・リスニング・スピーキングの勉強の仕方を学ぶ。			
		6	3 READING,WRITING	・リーディング・ライティングが成立する条件を学ぶ。			
6		4 実践練習、受験	・実践練習を繰り返し、課題を見つけ克服する作業を繰り返す。				
2		5 まとめ					
二学期	2	1 GTECについて、学習計画	・GTECについて理解をし、目標、学習計画を立てる。				
	6	2 LISTENING,SPEAKING	・1学期のリスニング学習・スピーキング学習の復習と応用。				
	6	3 READING,WRITING	・試験用の読解問題・記述問題への取り組み方。				
	6	4 実践練習、受験	・実践練習を繰り返し、課題を見つけ克服する作業を繰り返す。				
	2	5 まとめ					
三学期		3学期は授業を行いません					
履修上の注意							
1 真面目に授業に参加すること。 2 辞書、ノート、筆記用具を必ず持参すること。プリントをそのつど配布するので無くさないようにファイルしておくこと。 3 ワークシートを配布するので無くさないようファイルしておくこと。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	英語的な見方や考え方		表現・処理	知識・理解		
評価の観点の趣旨	出席、取り組み姿勢 積極的な取り組み、姿勢	日常生活から英語での表現を意識できているか。		自らの表現したい事を適切に英語で表現できるか。	英語表現を含む、英語文化の理解ができているか。		
評価方法	出席、発言 授業への取り組む姿勢	授業への取り組む姿勢 スピーキングテスト		スピーキングテスト ライティング課題	ライティング課題 授業内発表		



教科	学校設定科目	科目	食物	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	『調理BOOK』基礎 応用 理論 実教出版			担当者	江波戸純子		
概要・ねらい	2年次に学んだ食物の知識・技術を基本にし、食物検定受験をすることで、さらに詳しく調理についての知識・技術を習得する。また、よく目にする加工食品や日本の伝統料理について、調査・研究した上で、実際に調理をする。食品についての知識を習得するために、テーマを決めた調理実習をする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	2	オリエンテーション	今後の流れを把握し、理解できたか。			
		1	食物検定4級実技内容練習	食物検定4級の内容を含め、調理の基礎が理解できたか。			
		1	食物検定4級内容VTR	VTR「調理の基礎知識」			
		2	手量り・目測・いろいろな切り方実習	調理の基礎実習として、物の重さと分量の目安を理解できたか。また、材料の切り方の技術と知識を理解できたか。			
		2	基本だしのとり方	日本料理の基礎であるだしについて理解できたか。			
		2	「味噌」調理実習	日本の伝統的加工食品の作り方を理解できたか。			
		2	「だんご」調理実習	「米」を原材料にした加工食品について理解できたか。			
		2	テーマ「米」の調理実習	また、普段食べているものの作り方が理解できたか。米を中心として献立を考え、実習することができたか。 <レポート「米」>			
	二学期	2	食物検定4級受験	調理・栄養の基礎を理解できているか。			
		2	食物検定3級内容調理実習	食品の特性を理解し、調理の手順を考え、おいしく、見栄えよい調理ができたか。			
		2	食物検定3級受験	1つの料理を作る材料・手順を理解できたか。			
		2	献立の立て方	いろいろな調理法、栄養のバランスを理解しながら献立を立てる手順が理解できたか。			
		2	「ねぎらう食事」レポート	料理のバランスを考えて計画ができたか。 <レポート「ねぎらう食事」>			
		2	「ねぎらう食事」調理実習	食事の意義を考えた調理ができたか。			
2		「パン・ジャム」調理実習	「小麦粉」と「砂糖」について理解できたか。				
2		「ハンバーグ」調理実習	「肉」の特性について理解できたか。				
2		テーマ別献立作成・調理計画	バランスの良い献立か。調理手順に無駄は無いのか。				
2		テーマ「小麦粉」の調理実習	「小麦粉」の特性を生かした調理ができたか。				
三学期	2	テーマ「肉」の調理実習	「肉」の特性を生かした調理ができたか。 <レポート「小麦粉」「肉」>				
	2	「お弁当」調理実習	「お弁当」に適切な献立・調理法をし、彩りよくお弁当箱につめることができたか。 <レポート「お弁当」>				
	2	「日本の行事食」調理実習計画	伝統的な行事食を理解し、自分の生活に取り入れる工夫ができたか。				
	2	「おせち料理」調理実習	「おせち料理」の調理手順を理解できたか。				
2	「X'masパーティー」調理実習	「パーティー料理」の献立・調理手順を理解できたか。					
3学期は授業を行いません							
履修上の注意							
実習重視の授業です。それぞれの学期ごとに提出するレポート・作品などがあるので、期日を守りきちんと提出して下さい。またそれぞれの内容を理解した上で実践していきますので、積極的な姿勢で授業に臨んでください。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	技能・表現	知識・理解	思考・判断			
評価の観点の趣旨	食に対して関心を持ち、食材や調理に対する知識・技術を習得する姿勢と実習に対する積極的態度が見られる。	食材・調理法の知識・技術を習得し、味・栄養・見た目・調理法のバランスを考えた献立を立て、実際に調理をする能力が身についている。	食材・調理法の知識・技術が身についている。	基礎を学び、その場にあった献立を考え、様々な食材に対応した調理法を選ぶなど、食に対しての問題に適切な対応をすることが出来る。			
評価方法	授業の出席状況 授業に取り組む姿勢 レポートの提出	献立レポートの提出 実習に取り組む姿勢 料理の味・見た目のバランス	食物検定受験 レポートの提出	授業に取り組む姿勢 問題解決の方法			